

年 組 名前:

### 地元の自然 通年学習

武川小5年生 田植えやアイガモロボ体験



北杜・武川小の5年生が有機農業やプログラミングなどを通して、市内の自然について学習する授業に取り組んで

15日は、10人が同市武川町

いる。地元住民や企業など連携し、コメ作りや水資源などについて学ぶ。

「総合的な学習の時間」で1年間取り組む。児童はこれまで南アルプスユネスコエコパークや水資源について学習した。

田植えを体験する児童  
＝北杜市武川町牧原



牧原の田んぼで田植えを体験。同所の若手住民らでつくる団体「ブルーゲート」のメンバー10人の指導を受け、無農薬で育てた「農林48号」の苗を手で植えたり、田植え機に乗ったりした。鷹野日和さんは「泥に入ってみると楽しかった。手植えは列をそろえるのが難しかった」と話した。21日は雑草の育成を阻害する「アイガモロボ」を使ったICT（情報通信技術）に関する授業を実施。児童がアイガモロボをプログラミングし、実際に田んぼで使う。収穫したコメは授業で保護者と食べる。秋には「むかわ米・米まつり」で授業の成果を発表する予定。

〈木場菜摘〉

(2023年6月21日付 山梨日日新聞17面)

問1 北杜市武川小5年生は、有機農業やプログラミングを通じて、どのような授業に取り組んでいますか。

.....

問2 有機農業とは、どのような農業のことでしょうか。

.....

問3 児童は、15日に、どこで何の体験をしましたか。

.....

問4 児童がプログラミングする「アイガモロボ」は、どんな作業をしますか。

.....